



千葉県看護協会 「令和4年度看護職の再就業者実態調査」概要

就職先決定の決め手は「勤務時間」60.0%、「立地（通勤に便利な場所等）」57.2%、
「看護領域・看護内容・業務内容」54.0%

調査の概要

調査目的	再就業した者の実態を把握し、今後の再就業促進に向けた支援方法のあり方を検討する
調査対象	千葉県在住の令和3年度千葉県ナースセンター登録の再就業者 (臨時雇用にて就業した者を除く)
調査時期	令和4年5月27日～令和4年6月10日
調査方法	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収
回収状況	配布数：500名 回収数：215名 回収率：43.0%

調査結果のポイント

1. 回答者の属性

- 居住地は、千葉市 29.8%、柏市 9.8%、松戸市 9.3%の順であった。
- 就職時の年齢層は、「50代」28.8%、「40代」27.9%、「30代」18.6%の順で50代が増加した。
- 未就業者は「50代」「40代」「30代」の順に多く、転職者は「40代」が最も多く、次いで「50代」「30代」であった。
- 看護師 80.9%、保健師 10.7%、准看護師 5.1%の順だった。

2. 就業時の状況

- 就職時の就業状況は、未就業から再就業した者が112名(52.1%)、転職者が101名(47.0%)で、前年度より転職者の割合が5.5ポイント上昇した。
- 未就業者のブランク期間は、「6ヶ月未満」32.1%が最も多く、「6年以上10年未満」14.3%、「1年以上2年未満」10.7%の順であった。
- 再就業した施設で継続して勤務している人は69.3%で、転職が9.3%、退職した人が6.0%であった。
- 勤務先の施設種別は、「病院」21.4%、「福祉系施設」18.8%、「診療所」9.8%の順で、前年度と比較して病院の割合が11.6ポイント減少した。
- 雇用形態は、「非常勤職員」48.4%が最も多く、前年度より11.2ポイント増加した。次いで「正社員」23.7%で前年度より19.9ポイント減少した。「派遣職員」14.4%は前年度より9.1ポイント増加した。

○働き続けられる理由は、「通勤時間が自分の生活スタイルに合っている」61.0%、「通勤に便利」53.5%、「同僚との関係がよい」36.0%の順であった。

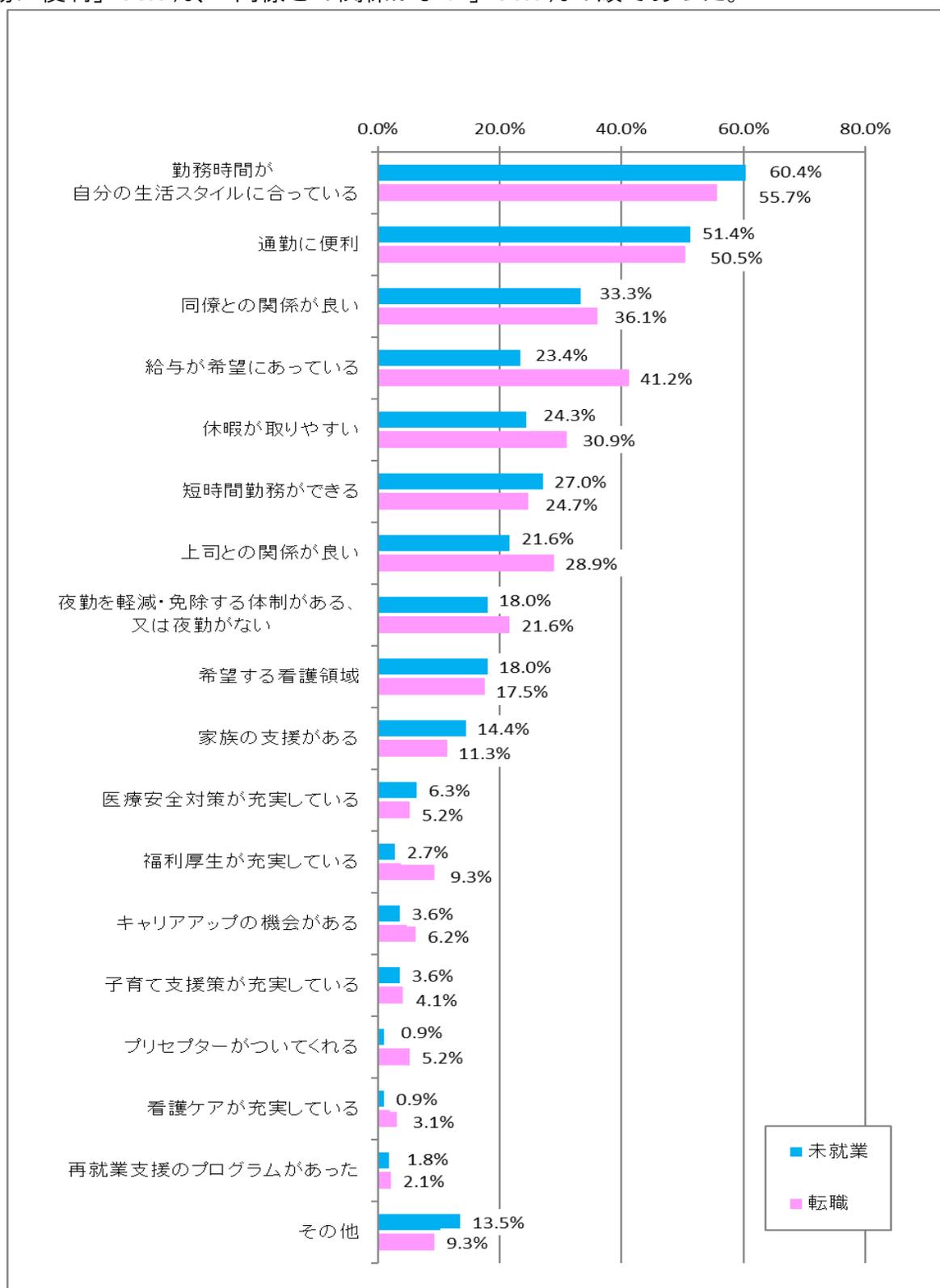


図 1.働き続けられている理由（未就業、転職別）

3. 再就業のきっかけ

○再就業のきっかけは、「今までに得た職業経験や技術・資格を活かす」56.7%が一番多く、次いで「コロナ禍から役に立ちたいと思ったから」34.4%、「経済的な理由から」33.0%

の順であった。

4. 就職活動で利用した職業紹介所等について

○就職活動で活用した職業紹介所等は、「千葉県ナースセンター」76.3%と最も多く、次いで「公共職業安定所」37.3%、「派遣業者」32.6%であった。

○就職先の決定では、「千葉県ナースセンター」が33.5%と最も多く、次いで「派遣業者」15.3%、「民間の就職あっせん業者」「知人・友人」9.8%であった。

5. 就職先決定の決め手

○就業先決定の決め手は、「勤務時間」60.0%、「立地（通勤に便利な場所等）」57.2%、「看護領域・看護内容・業務内容」54.0%の順に多く、前年度と比べて1位と2位が入れ替わった。

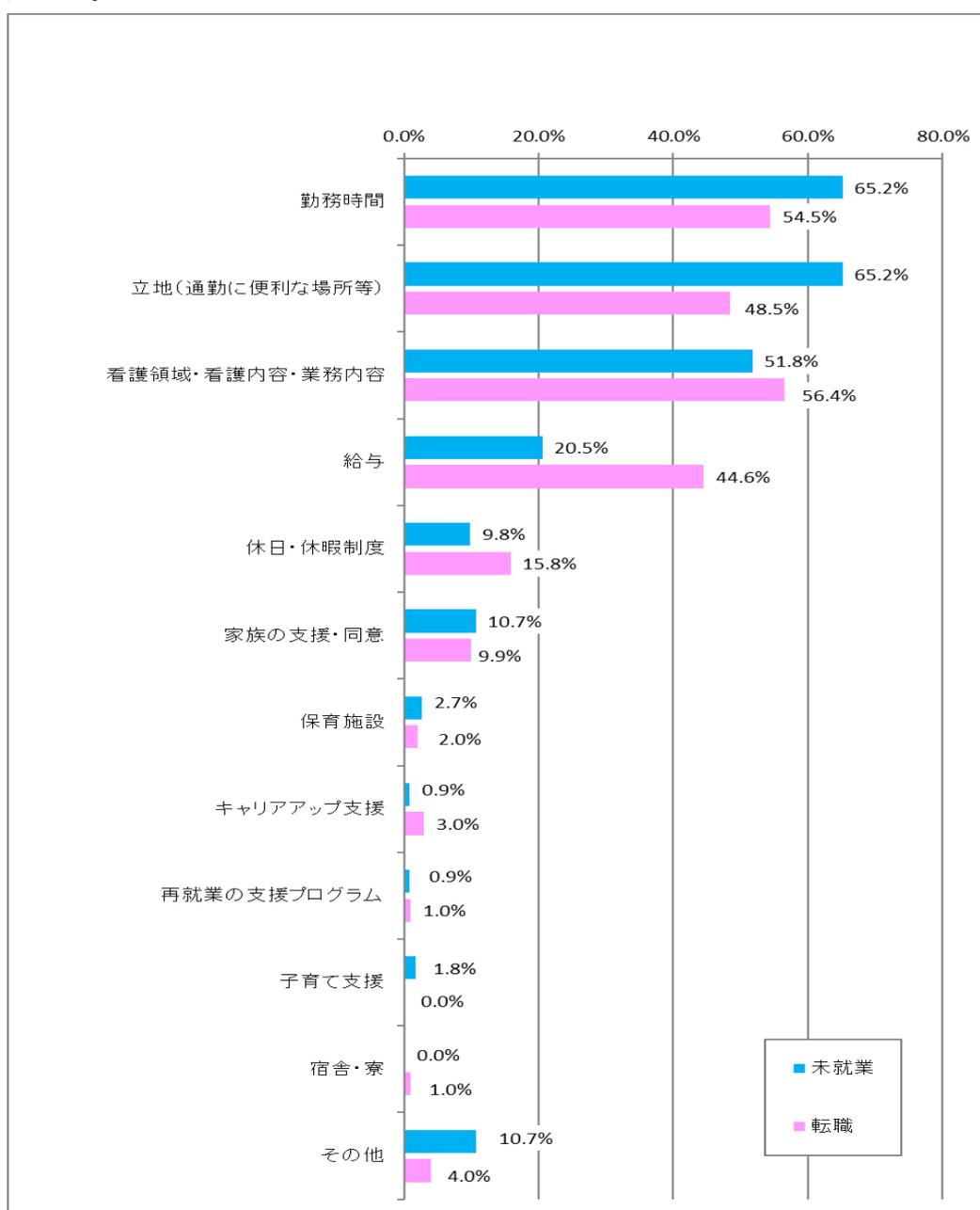


図 2.就職先決定の決め手（未就業、転職別）

6. 再就業講習会（復職支援セミナー等）について

○再就業講習会（復職支援セミナー等）の受講状況は、「受講した」33.5%、「受講しなかった」66.5%で、「受講した」人の内訳は、未就業が70.8%、転職が29.2%であった。受講した場所は、「千葉県ナースセンター・看護協会」が91.6%を占めていた。受講者の満足度は「満足」63.9%、「やや満足」31.9%であった。

7. 離職看護師等のナースセンターへの届出制度について

○届出制度について、「知っている」58.6%、「知らない」41.4%で、前年度に比べ「知っている」は2ポイント減少した。

○届出制度を知ったきっかけは、「千葉県看護協会ホームページ」44.4%、「所属していた病院等」32.5%、「日本看護協会ホームページ」19.8%の順であった。